

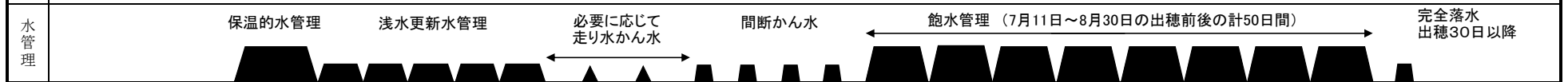
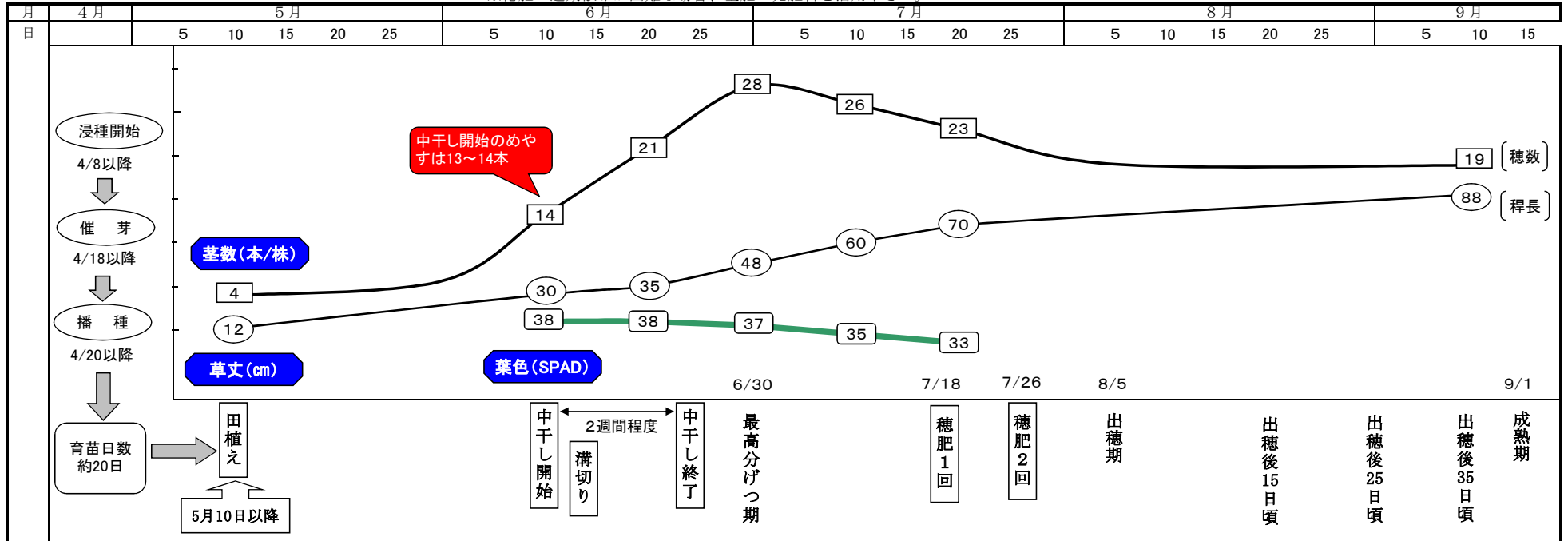
岩船地域における「こがねもち」の栽培ごよみ

目標の収量構成と品質	
目標収量	510kg/10a
穂数	350本/m ²
1穂粒数	82粒
m ² 当り粒数	29,000粒
登熟歩合	84%
千粒重	21.5g
検査等級	全量1等

栽培のポイント

- (1) 健苗育成 : ①育苗日数は20日程度(加温18日、無加温20日) ②播種は4月20日以降、播種量は乾粒140g/箱 ③徒長しやすいため温度管理に注意
- (2) 過剰生育防止 : ①1株苗数3~4本植えとし、茎質向上 ②栽植密度は60株/3.3m² ③基肥窒素量は3kg/10a程度 ④中干し・溝切りを徹底し、根の健全化と茎質向上
- (3) 登熟向上 : ①穂肥は出穂18~15日前と10日前とし、粒数過剰と倒伏防止 ②出穂前後25日間は飽水管理とし、田面を乾かさず地力窒素の発現を促進 ③落水は出穂30日以降とし、後期栄養凋落を防止 ※穂肥の適期散布が困難な場合、基肥一発肥料を活用下さい。
- (4) 病虫害防除 : ①いもち病の箱処理剤使用 ②いもち病とカメムシ類の同時防除
- (5) 穂発芽防止 : ①刈り遅れしない適期収穫(立毛中の穂発芽発生あり) ②刈取水分に応じて乾燥温度を調節
- (6) 土づくり : ①稲わらの秋すき込み ②土づくり肥料や堆肥等有機物の施用

基本は「適正生育量の確保」と「登熟の良い稲づく



【施肥例】				
	肥料名	10a施用量	窒素成分量	備考
土づくり	岩船米ソイル元気	60kg		
基肥+穂肥	基肥	BB500号	3.0kg	基肥選択
	穂肥1	とびきり444	2.8kg	
	穂肥2	穂肥32号	1~1.4kg	
基肥一発肥料	穂後の輝き30スーパー元肥	40kg	6.0kg	

【中干しのめやす】	
時期	目安
中干し開始	田植え後1か月頃を目安に
中干し終了	小ひびが入る程度

【穂肥のめやす】		
回数	時期	備考
穂肥1回目	出穂18日前	
穂肥2回目	出穂10日前	※1回目はやや遅くする

【穂いもち・カメムシ同時防除】		
回数	時期	薬剤
1回目	8月上~8月中旬	混合剤使用
2回目	8月中旬	混合剤使用

※時期はカメムシ防除を主体

【収穫】	
時期	条件
出穂後35日頃	完全落水 出穂30日以降
出穂後25日頃	積算温度で1,000℃
出穂後15日頃	秋すき込みは、地温の高い10月20日頃までに実施

※肥料や施肥量は地域の地力に応じて決定してください。